

働く人の目線にたって働きやすい環境づくりをすすめます

宝酒造では、仕事と家庭のバランスを大切に、社員が安心して働ける職場づくりのために、さまざまな取り組みをしています。



■雇用状況

宝酒造の2007年3月31日現在の従業員は1,357人で、内訳は右図の通りになっています。2007年4月1日現在の障害者雇用率は1.94%で法定雇用率(1.8%)を上回っています。

また、2005年4月1日からはシニアパートナー制度を導入し、定年後も活躍できる体制を整えています。

従業員数内訳

	人数(構成比)	管理職人数(構成比)
男性	1,198人(88.3%)	264人(98.1%)
女性	159人(11.7%)	5人(1.9%)
合計	1,357人	269人

■休日休暇制度

年間124日(完全週休2日制)の休日のほか、有給休暇は入社時に年10日間付与され、以後勤続年数によって最大年20日間付与されます。

また、2年以上経過した有給休暇は最大40日まで積み立てが可能で、本人の疾病、家族の介護、資格取得の際などに利用することができます。

さらに、25歳から55歳まで5年ごとに最低10日間の連続休暇が取得できるリフレッシュ休暇制度も設けています。

その他、事業場単位で週1回「ノー残業デー」を設け、長時間労働の抑制を図っています。

休日休暇制度 利用状況

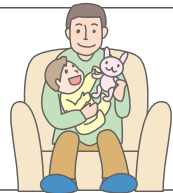
	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
有給休暇取得率	63%	59%	59%	61%	54%
育児休職制度(利用者数)	7人	5人	9人	7人	15人
介護休職制度(利用者数)	0人	0人	0人	0人	0人
乳幼児看護休暇制度(利用者数)	—	—	51人	57人	56人
妊産婦・乳幼児健診休暇制度(利用者数)	—	—	20人	26人	20人

■仕事と家庭の両立のために

宝酒造では、社員が仕事と家庭を両立できる働きやすい環境をつくることによって、社員の能力が十分に発揮できるような体制づくりに取り組んでいます。

具体的には、以下のような休職や休暇が取得できます。

- 育児休職
- 介護休職
- 乳幼児看護休暇
- 妊産婦・乳幼児健診休暇



また、2003年7月に施行された「次世代育成支援対策推進法」を受けて、「父親が配偶者の出産時に取得できる休暇制度」と「結婚・出産・育児・介護・配偶者の転勤など家庭の事情を理由とする退職者の再雇用登録制度」を2007年4月1日より導入しました。

なお、男性社員の育児休職取得促進に向けた啓発・支援も行っています。

利用者の声

江口 寛

黒壁蔵 工場管理課
育児休職取得(2006年度)

仕事と子育ての両立が社会問題にもなっている昨今ですが、育児休職制度を利用する一番のポイントは、いかに職場の理解を得られるかです。休職中のフォローなど職場の支援なしには成り立ちません。

なかなか積極的に活用するのは難しい制度ですが、会社も次世代育成に向け、さらに制度を充実させています。



まだまだ男性社員の育児休職取得者はわずかですが、誰でも当たり前前に制度を活用できる、そんな働きやすい会社になるのが理想ですね。

■福利厚生制度

社宅・独身寮などの基本メニューの他に、社員一人ひとりが自分のライフプランに合わせて、あらかじめ用意されている福利厚生メニューから一定のポイント内で自由に選択して利用できる「カフェテリアプラン」を導入しています。

毎年社員の要望に応じて、ポイント利用メニューの拡充、変更を行い、積極的な活用を呼びかけています。

カフェテリアプランの例

社宅・寮使用料補助	自己啓発メニュー補助
住宅ローン利子補助	★図書購入費用補助
★育児サービス利用補助	★宿泊施設利用補助
★介護サービス利用補助	スポーツ施設利用補助
★医療費用補助	★社内食堂利用補助

★:2007年度に拡充および変更されたメニュー

■健全な労使関係

宝酒造はTaKaRa労働組合と労使の信頼を基盤に健全な労使関係を構築しています。

労使協議会や各種労使専門委員会を開催し、経営内容に関する報告や労働条件について協議を行っています。

■安全と健康を守る職場づくりのために

●安全衛生管理の取り組み～労働災害ゼロ化へ～

社員が安全に働ける環境を整えるために安全衛生委員会を設け、従業員の危険予知能力や安全意識の向上に向けた活動を行っています。

工場では「労働安全衛生マネジメントシステム」に基づき、危険が潜む作業や設備を明らかにして事故の防止に努めています。

2006年度の休業災害は3件でしたが、事故の発生原因と対策の水平展開を図り、労働災害ゼロ化をめざしていきます。

休業災害発生率

	全産業	食品・たばこ	宝酒造
04年度	1.85	2.86	0.83
05年度	1.95	2.86	1.60
06年度	—	—	2.40

※度発生率:災害発生頻度を表す指数で、延べ100万労働時間あたりの災害件数
(資料出所:厚生労働省 労働災害動向調査)

利用者の声

羽田 優子

調味料部 調味料企画開発課

福利厚生制度には、とても満足しています。昨年入社して調味料部に配属となったのですが業務で試食を行うことが多いことや、社会人になって運動する機会が極端に減ったことで、体重が一気に増加してしまいました。

そこでカフェテリアプランのポイントを利用し、ジムに通って心身のリフレッシュに努めています。



利用ごとに使用料を払うプランを選んだので、無理なく続けられ、現在も継続中です。

また社員の要望を反映させ、年々充実した内容になっているのも嬉しい限りです。

TaKaRa労働組合から



労働条件の向上と働きがいを得るための活動

大館 洋一

TaKaRa労働組合 中央執行書記長

TaKaRa労働組合は、健全な労使協調路線のもと、賃金や労働時間などの直接的な労働条件向上のみならず、働きがいや得られる職場をめざして活動しています。

執行部のオルグ活動による組合員との直接対話などをもとに積極的に会社に提言し、会社の健全な発展と同時に、働きがいなども含めた労働条件の向上をめざしています。

さらに近年は労使でメンタルヘルスの問題にも取り組んでいます。会社や健康保険組合の取り組みを側面からサポートするとともに、メンタルヘルスについての組合員の理解を深めることにも努めています。